



進路だより



岡山市立芳田中学校 第3学年 令和6.4.12 No2

3年生になって1週間が過ぎました。新しいクラスでのスタートはどうですか？「今年は頑張る！」という新鮮な気持ちや、「受験生として頑張る！」という決意を忘れず、一日一日を過ごしていきましょう！

1. オープンスクールについて

① 積極的に参加しましょう。

中学校では、「公立高校説明会」・「私立高校説明会」がありません。また、公立と私立ではオープンスクールの数が異なります。公立高校は1回から多くて2回程度です。私立高校は2回から多いところで6回程度ある学校もあります。日にちによっては実施校が重なっている場合もありますので、計画的に参加するようにしましょう。日程に関しては、後日配付する予定です。

② 申し込みを確実に。

高校のオープンスクールや学校説明会の申し込みについては『miraicompass (ミライコンパス) サイト』を通じて行うようになっています。このミライコンパスは出願でも利用するサイトとなっており、メールアドレスの登録が必要になりますが、一度登録しておく、今後はいろいろな学校へのオープンスクールの申し込みや入試の出願も共通して行うことができるシステムとなっています。

各家庭で、はじめのオープンスクールや学校説明会の申し込みの際に登録をしてください。

申し込みに関しては、人数制限などもあるので時間に余裕をもって、確実に行うようにしましょう。

2. これからの進路選択にあたって注意すること

① 納得のいくまでよく話し合う。

自分の「進みたい道」を伝えると同時に、お家の方の思いを聞き、しっかり話し合しましょう。

② 自分の能力・適性を知る。

自分の興味・関心や適性・能力について知り、進路の方向性や具体的な目標を明確にしましょう。

③ 進路情報を収集し的確に分析する。

希望する将来の職業の内容や、その職業に必要な能力・適性・資格などをよく知り、進路選択に関する情報をできるだけ詳しく調べておきましょう。

④ 書類を正確に書き、提出期限を守る。

出願書類など高校入試に関わる書類は、不備があったり、期限が過ぎたりすると一切受理されません。この一年はたくさんの重要な書類が配付されます。常に書き方や期限を意識しましょう。

3. 公立入試について その1

<全日制について>

○ 公立高校の専門学科・総合学科を中心に、「一般入試」の前に、「特別入試」が実施されています。

※岡山芳泉高校など普通科の高校は、「一般入試」のみになります。

○ 「特別入試」を受検し、不合格になった場合、「一般入試」で同じ学校に再出願することも、ほかの学校に出願することも可能です。

○ 普通科を受検する場合、学区が定められている学校と県内のどこからでも受検できる学校（全県学区）とがあり、学区外の高校へは募集定員の5%以内で入学することができます。芳田中学校の学区は「岡山学区」（岡山朝日、岡山操山、岡山芳泉、岡山一宮、西大寺、玉野）で、全県学区の普通科（玉野光南、総社南、岡山城東）も学区内出願となります。専門学科や市立高校（岡山後楽館など）は全県学区となります。

4. 公立入試について その2

<特別入試について>

R7年度は、2月5日(水)・6日(木)に実施される予定です。

- 選抜方法 ・1日目…学力検査、2日目…面接、実技、選択実施する検査
- 選抜の方針 ・調査書 ・学力検査…国語、数学、外国語(英語) ・面接
・実技 ・選択実施する検査…口頭試問、小論文、作文、実技から1つ以上。
- 特別入試では、合格内定したら、必ずその高校に進学することになります。
- 特別入試が実施される学校・科や募集人員、選択実施する検査については、今後お知らせします。
(玉野光南高校体育科、倉敷天城高校理数科は特別入試で100%募集しているなど)
- R5年度入試より特別入試の募集枠が拡大されています。岡山南・岡山東商業・岡山工業・興陽高校などでは、定員の80%を募集するようになっています。

<一般入試について>

R7年度は、3月11日(火)・12日(水)に実施される予定です。

- 選抜方法 ・1日目…学力検査、2日目…面接、実技
- 選抜の方針 ・調査書 ・学力検査…国語、社会、数学、理科、外国語(英語) ・面接・実技
(岡山朝日は国・数・英を学校独自で作成)
- 募集定員 ・募集定員から「特別入試」合格内定者数を除いた人数
(昨年度の興陽高校では、全科ともに募集人員は8名でした。)

<公立定時制について> (烏城高校など)

- 昼間部と夜間部があります。
- 定時制のみの受検者も増えてきており、入試が厳しくなる年もあります。

5. 私立入試について

・R3年度入試より、私立高校はWeb出願になっています。オープンスクールに積極的に参加したり、興味のある高校のHPを確認したりして、早めに情報収集しておきましょう!

○ 入試の区分

- * 県内私立は1期入試、2期入試と2回ありますが、それぞれの入試で1校しか受験できません。
- * 県外の高校は受験可能です。

○ 入試の内容

- ・調査書 ・学力検査(主に国・数・英) ・面接

○ 専願制度

- ・合格したら必ずその学校へ進学することを約束して受験する制度です。

○ さまざまな特典制度

- ・評定や、欠席・遅刻・早退が少ないことにより受験料免除・入学金免除・面接入試等がある学校があります。また、スポーツ・文化特待生制度などもあります。
- ・検定資格による加点制度などがある学校もあります。



6. その他気をつけておくこと

- 毎日の授業を大切に、意欲的に授業に参加する。
- 規則正しく、けじめのある生活を送るよう心がける。
(日頃から身だしなみや言葉遣いにも気を配り、いつでも受験できるくらいの心構えで生活しましょう。)
- 進路に関するプリントや、高校から配られるパンフレット、募集要項などは大切に保管する。
(配られたパンフレットはファイルに綴じて学校で保管し、夏休み前に持ち帰ります。家に帰ってじっくり見たいという人は、担任の先生に伝えて持ち帰りましょう。)